

## 子ども議会 会議記録

日 時 平成26年 8月 1日 (金) 開会時間 午前10時00分  
閉会時間 午前11時24分

場 所 加賀市議会 議場

議 長

子ども議長 渡辺 大地

質 問 者

子ども議員 梅津 ゆや 子ども議員 鹿野 とも子

子ども議員 近馬 歩果 子ども議員 秋友 風香

子ども議員 三浦 稔生 子ども議員 竹内 龍矢

子ども議員 辻 千尋 子ども議員 中西 郁弥

子ども議員 田村 明日香

補佐役議員

議 長 高辻 伸行 副 議 長 中谷 喜英

議 員 田中 金利 議 員 宮崎 護

議 員 上田 朋和 議 員 乾 浩人

議 員 辰川 志郎 議 員 吉江 外代夫

議 員 林 茂信 議 員 川下 勉

答 弁 者

市 長	宮 元 陸	副 市 長	山 下 正 純
会 計 管 理 者 (兼 会 計 課 長)	谷 口 淳 子	総 務 部 長	菅 本 昇 司
新 病 院 ・ 地 域 医 療 推 進 室 長	大 田 俊 介	市 民 部 長	高 川 義 博
地 域 振 興 部 長	大 和 徳 泰	建 設 部 長	林 克 之
上 下 水 道 部 長	東 裕 之	山 中 温 泉 支 所 長	荒 谷 啓 一
秘 書 課 長	山 田 圭 一	財 政 課 長	柴 田 義 徳
市 民 病 院 事 務 長	河 本 正 巳	議 会 事 務 局 長	表 雅 裕
代 表 監 査 委 員	西 田 淳 一	監 査 委 員 事 務 局 長	谷 口 三 治
教 育 委 員 会 委 員 長	上 田 政 憲	教 育 委 員 会 教 育 長	山 下 修 平
教 育 委 員 会 事 務 局 長	掛 山 政 規	消 防 長	山 下 秀 男

会 議 次 第

- 1 開 会 挨 拶
- 2 子 ども 議 会
- 3 講 評

## 開 会 挨拶

○事務局 定刻となりましたので、加賀市子ども議会を開会いたします。

初めに、高辻加賀市議会議長が御挨拶を申し上げます。

○高辻議長 皆さん、おはようございます。

加賀市議会議長の高辻です。子ども議員の中学生の皆さんには、貴重な夏休み期間にもかかわらず、御出席いただき誠にありがとうございます。

この子ども議会は、平成24年1月に小学生を対象に開催した初回に引き続き、2回目となります。

今回は中学生ということもあり、皆さんにとって、最もかかわりの深い学校や教育に関する問題を初め、北陸新幹線の開業や総湯の利用促進、少子化対策など、加賀市が抱えるさまざまな問題についての質問が通告されております。これらの質問に対し、市長を初め当局の皆さんは、できるだけわかりやすい答弁となるよう御配慮をいただいたと聞いております。この場をお借りし、市長には、改めて感謝を申し上げますとともに、前向きな答弁を期待しております。

さて、子ども議員の皆さんにとっては、日ごろから加賀市に対して抱えている疑問や意見について、市長が直接、心を込めて答えてくださる貴重な機会です。自分の質問に対する答弁だけでなく、ほかの子ども議員の質問とその答弁にも、しっかりと耳を傾け、一人一人の加賀市に対する視野を広げる機会にさせていただきたいと思います。

皆さんの持つ若い感性と視点から、自分の夢や希望を交えた率直な意見を堂々と、かつ、はつらつと発言していただくようお願いいたします。

本日の子ども議会在、皆さんにとって有意義で充実したものとなりますよう心から御期待を申し上げまして、加賀市議会を代表しての御挨拶といたします。

## 子 ども 議 会

○議長（渡辺大地さん） ただいまから、加賀市子ども議会を開会します。

本日、子ども議長を務めます、片山津中学校2年渡辺大地です。よろしくお願ひします。

それでは、本日の会議を開きます。

これより、私たちが暮らすふるさと加賀市の将来やまちづくりについて、私たち中学生の視点から、加賀市政に対する一般質問を行います。

通告がありましたので、順次、発言を許します。

梅津ゆやさん。

○梅津ゆやさん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 梅津ゆやさん。

○梅津ゆやさん 東和中学校1年の梅津ゆやです。

学年トイレの修繕について質問します。

東和中学校は昭和39年に建設された学校であり、やがて築50年になります。学校全体の老朽化も激しくなってきました。そして、見た目も悪くなってきました。特にひどいのが学年トイレで、大変汚いです。水回りは清潔にしなければならないところですが、私たちも一生懸命掃除していますが、施設が古くてなかなかきれいになりません。もっときれいなトイレを使いたいです。何とかならないでしょうか。ぜひ一度、私たちの学校のトイレを見ていただいて、今の現状を確認し、改善していただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 皆さんおはようございます。

中学生の皆さん、ようこそ議会のほうにお越しをいただきました。大変うれしく思っております。それから、皆様方の御質問にお答えをさせていただけること、本当に心からうれしく思っております。議会でありますので、皆さん方はそれぞれ議員であります。それぞれのお名前を何々議員というふうにお呼びしたいと思っております。

それでは、梅津議員の学年トイレの修繕についての御質問にお答えしたいと思います。

市内の学校の中には、建設から相当の年数が経過している建物が多くあります。加賀市では、地震などの災害から児童生徒を守ることが一番重要と考え、これまで学校の校舎・体育館の耐震化工事を優先して実施をいたしてまいりました。その結果、全ての学校の校舎・体育館で耐震対策が完了をいたしております。

また、トイレを初めとした給排水設備や暖房などの空調設備が古くなって故障した場合は、その都度、必要な修繕を行ってきております。

東和中学校には、私も以前、訪れたことがあります。トイレの現状についてよく知っておりますので、梅津議員のおっしゃる気持ちも十分に理解できます。2年生用と3年生用のトイレは改修されていますが、1年生用のトイレは老朽化が目立っていますので、今後できるだけ早くに洋式化を含めた大規模な改修を行いたいと考えております。それまでは、現状のトイレをこれまでと同じように大事に使っていただくことをお願いいたします。

以上です。

○梅津ゆやさん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 梅津ゆやさん。

○梅津ゆやさん 次に、中学校での売店の設置について質問します。

東和中学校の給食は、すごくおいしくて、量にも満足しているのですが、どうしても部活の前にはおなかがすいてしまいます。運動部の先輩の中には、おにぎりを持って来ている人もいるのですが、今の季節では傷んでしまいそうで怖いです。

そこで何とかして、学校にちょっとした売店をつくることができないでしょうか。ぜひ検討していただきたいのですが、いかがでしょうか。

○議長（渡辺大地さん） 山下教育長。

○山下教育長 おはようございます。

本日は市内6中学校の1、2年生の代表の皆さんによる子ども議会ということで、実際に議会の雰囲気を知っていただきたいと思います。皆さんは少し緊張しているかと思いますが、正々堂々と質問をしていただきたいと思います。今の市長の答弁のほか、教育委員会も答弁がありますが、誠心誠意、お答えをしたいと思います。どうかよろしくお願いをいたします。

それでは早速、中学校の売店の設置についての質問にお答えをします。

私が中学生だったころ、大きな中学校には学習に必要な筆記用具やノート、パンや飲み物などを売る売店がありました。しかし、今はコンビニエンスストアなど、お店の数もふえ、大変便利になったのでわざわざ学校に売店を設置する必要がなくなったと考えられます。市内で売店のある学校は、現在は1つありません。

現在、市内の中学校では、学校の規則として、学校に食べ物などを持ち込まないことになっております。まず、朝御飯をしっかりと食べて登校する。そして、お昼の給食は育ち盛りの中学生のために、量や栄養面を計算して、しっかり出されておりますので、その給食を十分に食べていただいて、部活動をしてください。

また、日本の食文化である一日三食という習慣を守り、食事をする時間や食べ方などに注意し、規則正しい食生活を送ってください。給食をしっかりと食べて、一生懸命部活動をする。そして、部活動が終わったら早く家に帰って、家族と一緒に夕食を食べ、家族団らんの時間を持つてほしいと思っております。

○梅津ゆやさん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 梅津ゆやさん。

○梅津ゆやさん よろしくお願いをいたします。これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 梅津ゆやさんの質問及び答弁は終わりました。

鹿野とも子さん。

○鹿野とも子さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 鹿野とも子さん。

○鹿野とも子さん 山中中学校2年の鹿野とも子です。

総湯の学割制度について質問します。

現在、山中温泉菊の湯は、小学生までの子供料金が130円、大学生以上の大人料金が420円で入浴可能となっております。50円などの回数券もありますが、大人料金が高過ぎると思います。山中には合宿や旅行に来る中・高・大学生も多いですから、学生証を表示し

たら280円ぐらいにするとうれしいです。総湯にはシャンプーやボディソープなどもついていません。総湯に気軽に入れるようにするためにも、学生割がいいと思います。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 鹿野議員の総湯の学割制度についての御質問にお答えをしたいと思います。

公衆浴場には、いわゆる「銭湯」と呼ばれる普通公衆浴場、山中温泉では菊の湯がこれになります。それから、スーパー銭湯などのその他の公衆浴場、山中温泉ではゆーゆ一館がこれに当たります。この2種類があります。

菊の湯など市内3温泉の総湯は、最初に述べた銭湯などの普通公衆浴場という分類になります。これらは、石川県の公衆浴場入浴料金統制額という基準によって料金が決まっております、学割はございません。

料金はこれまで中学生以上の大人が420円でしたが、本日8月1日から県の基準額の値上げに伴って、大人のみ20円上がり、3温泉とも440円になりました。これは、燃料費などの増加に加え、この4月からの消費税の引き上げによって公衆浴場の経営の悪化が心配されることなどから、石川県が公衆浴場の経営者の方々の要望などを受けて、料金を改定したものであります。このようなことから、菊の湯の大人料金だけが決して高い料金ではないということをおわかりいただければと思います。

また、学割は、高額な交通機関の運賃に対する学生の負担の軽減や、美術館などの社会教育施設における教育と学習の場の提供などが主な趣旨であることから、山代・片山津の総湯と同じく、菊の湯も学割は行っていないのが現状であります。現在、3温泉の総湯では、10回分の料金で11枚つづりになっている割引回数券がありますので、こちらをぜひ活用していただきたいと思います。

なお、3温泉とも総湯と合わせたお得な観光クーポン券があり、今後もいろいろと企画をしていく段階におきまして、学生の合宿誘致を推進していく上で、何か支援できることがないか検討してみたいと思っております。

菊の湯は全国的にも珍しい、男女が別々の建物になっていて、立派な外観で浴槽も広くて深いすばらしい総湯だと、鹿野議員初め、地元の皆さんがどんどんPRをしていただきたいと思います。

御提言、誠にありがとうございました。

○鹿野とも子さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 鹿野とも子さん。

○鹿野とも子さん 次に、小松空港からのバスの復活について質問をします。

昔、小松空港から山中や山代へのバスが出ていましたが、乗る人が少ないため、なくなってしまいました。でも、マイカーで行くと今はガソリン代も上がり、駐車料金も高くかかってしまいます。ですから、マイカーやタクシーに乗るよりも、バスを利用したほうが家計にも環境にも優しいと思います。バスはバスでもマイクロバスのような小さ

なバスでいいと思うので、ぜひ復活してほしいです。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 小松空港からのバスの復活についての御質問にお答えをしたいと思います。

小松空港から山中温泉や山代温泉へ向かうバスは、昭和55年から平成16年まで走っておりました。しかし、マイカーが普及したことや観光客が減少したことから、バスを利用する人が減り、会社の赤字が膨らんだ結果、バス路線は廃止となりました。

その後、平成24年に加賀市内の観光施設等を周遊するキャンバスに、小松空港と加賀温泉駅を結ぶ小松空港線という路線ができ、1日5便が運行をしていますので、現在は加賀温泉駅で乗りかえが必要でありますけれども、小松空港と山代・山中温泉がバス路線で結ばれております。バス路線の維持のためには、少しでも多くの方々に利用してもらうことが必要と思っております。

以上です。

○鹿野とも子さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 鹿野とも子さん。

○鹿野とも子さん 質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 鹿野とも子さんの質問及び答弁は終わりました。

近馬歩果さん。

○近馬歩果さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 近馬歩果さん。

○近馬歩果さん 片山津中学校2年の近馬歩果です。

保育園の園児数の均等化について質問します。

片山津地区には、保育園児の数が多き保育園と少ない保育園があります。なので、園児の人数が多い保育園では、1人の保育士が見る園児の数が多くなるので、その分全員に目が行き届かないのではないかと思います。だから、私はどの保育園に入園しても、安心して同じように保育が受けられるように保育園児の数を均等になるようにしてほしいと思います。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 近馬議員の園児数の均等化についての御質問にお答えをいたします。

現在市内には、30カ所の保育園があり、2,351人の子供たちが通っておりますが、全国的な少子化の中で、保育園に通っている子供の数は減少を続けております。

近馬議員がおっしゃったとおり、片山津地区では園児数が200人を超える保育園がある一方で20人に満たない保育園が1園あります。また、市内には、ほかに20人に満たない保育園が4園あります。保育園では、保育園の先生が受け持つことができる園児の数は、園児の年齢ごとに基準が定められておりますので、園児数の多い保育園でも、子供たちに目が行き届かなくなるようなことはありません。

なお、園児数の少ない保育園では、同じ年齢の友達が少なく、多くの友達とかかわる機会も少なくなっております。保育園での集団生活を考えますと、保育園は、ある程度の人数が必要であると思っております。こうしたことから、保育園の規模につきましては、今後、保育園が一定の規模になるよう保育園を統合していくことを検討していかなければならないとも考えております。

以上です。

○近馬歩果さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 近馬歩果さん。

○近馬歩果さん 次に、子供たちの遊べる公園について質問します。

片山津地区内で公園の数が不足していると思います。実際、私の住んでいる町内でも近くに公園がないので、アパートの駐車場や道路で、小さい子供がローラースケートやボードなどを使って遊んでいます。その様子を見ていると車にぶつからないかなど心配になります。なので、小さくてもいいので、子供たちの安心して遊べる公園をつくってほしいです。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 子供たちの遊べる公園についての質問にお答えをしたいと思います。

子供たちが外でのびのびと遊ぶことは大変大事なことだと思っております。

現在、片山津地区には、利用の目的に応じて公園が7カ所整備をされております。例えば、柴山潟湖畔公園のように中谷宇吉郎雪の科学館が建ち、近隣の方々だけではなく、観光客もたくさん利用している大きな公園や砂走公園あいあい広場のように、町の中心部にあって、お祭りやイベントなどに利用されている公園、また、潮津公園や湖南公園のように住宅地にあって、近所の方々が日常的に利用する公園もあります。

これらの公園の多くは、温泉街とその周辺に整備されており、離れたところに住む子供たちが歩いて行くには、少し遠く感じられるかと思っております。近くに公園をつくってほしいという御意見でありますけれども、安全性や周辺環境などを考えて、場所を選ばなければなりませんし、工事の費用等なかなか難しい面があります。公園は簡単にはつくれませんが、小さな子供たちの安全や遊びの環境については、市も皆さんと一緒に考えていかなければならないと思っております。

もし、小さな子供さんが、道路でローラースケートやボール遊びをしていたら、危ないから道路で遊んではいけませんと注意をしていただきたいと思います。そして、近所の子供たちに、小学校のグラウンドや神社の境内、湖城町の町民会館の芝生広場など、公園ではありませんが、安心して遊べる場所があることをぜひ教えてあげていただきたいと思います。

○近馬歩果さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 近馬歩果さん。



○近馬歩果さん 質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 近馬歩果さんの質問及び答弁は終わりました。

秋友風香さん。

○秋友風香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 秋友風香さん。

○秋友風香さん 橋立中学校1年の秋友風香です。

公共交通機関について質問します。

私の住む橋立にバスなどの公共交通機関がないのはなぜでしょうか。橋立のほかにも、黒崎、片野などにもありません。高校に通う先輩から、雨や雪が降ったとき通学が大変だと聞きます。また、私の学校の校区内には、コンビニがありません。車を持たない年配の方は、日用品の買い物に苦労しているのではないかと考えます。通院に関しても交通手段は必要になります。公共交通機関がないことについて、どのように考えているのでしょうか。また、今後どのように取り組まれるのでしょうか。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 秋友議員の公共交通機関についての御質問にお答えをしたいと思います。

かつては、加賀市内では電車や路線バスがたくさん走っておりましたが、マイカーの普及などにより利用者が減少し、赤字が増加したことで、市内を走っていた電車やバス路線が次々と廃止をされ、橋立地区を走っていたバス路線も、平成20年に廃止をされました。市内には路線バスなどの公共交通機関がない地域があり、マイカーを運転できない方々にとっては、通学や通院、買い物などの外出が難しい場合があります。

こうしたことから、市としても公共交通の整備につきましては、何とかしなければいけないと考えております。そこで、マイカーを運転できない方々も気軽に通院や買い物などに出かけることができるように、平成28年4月の加賀温泉駅前での新病院のオープンに向けて、新しい公共交通体系づくりに取り組んでおります。加賀温泉駅周辺には大型ショッピングセンターもあり、通院や買い物などの大抵の用事を済ませることができるようになるので、市内全ての地域から加賀温泉駅周辺に、新たなバス路線や1台のタクシーに複数の人が相乗りをする乗合タクシーの導入を進めております。

また、キャンバスで大聖寺方面の高校に通学できるように、橋立地区を走っているキャンバス海まわり線の一部に、逆回り便を導入することも考えております。

このように、マイカーを運転できない方々が、気軽に利用できる公共交通の充実に向けて、今、仮の呼び方ですけれども、「KAGAあんしんネット」という名で、取り組みを進めております。詳しくは先月号の広報かがにも載せておりますので、おうちに帰ってぜひ読み直していただきたいと思います。また、皆さんからKAGAあんしんネットにかわる新しい名前をいただければ、ありがたいなとも思っております。よろしくお願いをいたします。

○秋友風香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 秋友風香さん。

○秋友風香さん 次に、中学生の意見、要望の発信の方法について質問します。

私たちの学校には、目安箱が設置されています。これは、生徒会活動の1つで、生徒会執行部が生徒一人一人の疑問や要望に答え、学校をよりよいものにしたいという思いから設置されています。

私たちは加賀市の市民の1人ですが、まだ選挙権がありません。私たち中学生が加賀市に対する意見や要望があるとき、それをどのように伝えればいいのかお示してください。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 中学生の意見、要望の発信の方法についての御質問にお答えしたいと思います。

まず、橋立中学校においては、よりよい学校生活に向けて、生徒会が独自に目安箱を設置していることは、大変よいことだと思っております。

市でも同様に、市民の皆さんからの御意見や御要望については、市民版目安箱として市民意見箱を市役所の1階ロビーに設置し、「かもまるメッセージ」という愛称で、御意見をいただいております。

かもまるメッセージについては、市民意見箱への投函だけではなくて、手紙やメールでも受け付けていますが、主に大人の方々からの市政に対する意見を想定いたしております。皆さんからのメッセージも受け付けてはおりますが、かもまるメッセージとして出す前に、まずは、家庭において家族の皆さんと課題や問題点について、話し合う機会を持っていただくことが、大切ではないかと考えております。その上で家庭でのやり取りも踏まえた形で、かもまるメッセージにつきましても、御活用いただければと思っております。

○秋友風香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 秋友風香さん。

○秋友風香さん 質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 秋友風香さんの質問及び答弁は終わりました。

三浦稔生さん。

○三浦稔生さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 三浦稔生さん。

○三浦稔生さん 錦城中学校2年の三浦稔生です。

環境汚染対策について質問します。

今の加賀市には自然がたくさんあります。でも、その自然には美しいものと汚れているものがあります。美しい自然には、鴨池などがあります。加賀市が誇れる素晴らしいものです。また、僕が住む三谷地区もその1つであると思っておりますが、その一方で、

ごみの不法投棄で自然が破壊され、市内の一部の河川では、汚れている箇所を見かけることがあります。これらの環境の汚染対策に対して、市では、どのぐらい予算をかけているのですか。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 三浦議員の環境汚染対策についての御質問にお答えをしたいと思います。

加賀市には、三浦議員がおっしゃるとおり、山や川、海など市民が誇れる自然がたくさんあります。

しかし、せっかく豊かな自然があっても、飲み物の容器や家庭からのごみ、テレビやパソコン、洗濯機などの電気製品を不法投棄する事例が発生しております。昨年1年間に回収された量は約16トンとなっています。それにかかった費用は、監視パトロールや看板の設置などの防止対策費と回収したごみの処理費とを合わせ、約200万円となっております。

また、その他の環境汚染対策として、各種の美化推進活動があります。主なものとしては、毎年6月の第3日曜に行われる、海岸に漂着したごみを市民ボランティアが回収するクリーンビーチ・インかがやごみのポイ捨て、飼い犬・飼い猫のふんの放置の禁止、道路での喫煙等を制限するポイ捨て等防止活動があり、その費用として、昨年1年間に、約260万円を充てております。

このほか、地域住民が行う町内の道路や側溝の清掃、大聖寺川や動橋川などの河川や海岸の清掃活動への補助制度があり、昨年1年間で、約300万円を補助いたしております。

市では、今後も市民が誇る自然環境を大切にするために、不法投棄防止対策の実施と啓発に力を注いでまいりますので、三浦議員を初め市民の皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

○三浦稔生さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 三浦稔生さん。

○三浦稔生さん 次に、少子化対策について質問します。

少子化問題についてお尋ねします。現在、子供の数が年々減りつつあります。僕の出身の三谷地区でも、昔よりも子供が減っていると聞きました。少子化の対策として、子供の保育料を1万円下げると聞きました。ほかにも中学生以下の子供の医療費について、1,000円を超える金額を市が負担していることも聞きました。そのほかにも、今現在、市が行っている対策やこれから行おうとしていることがあれば、教えてください。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 少子化対策についての御質問にお答えをしたいと思います。

三浦議員がおっしゃったとおり、子供の数は減少し続けているのが、現状であります。全国的な少子化の流れは、加賀市も例外ではなくて、昨年の3月に国が公表をしました日本の地域別将来推計人口では、現在、約2,000人いる加賀市の中学生は、2040年には、

およそ半分の1,000人程度になると予想されております。また、現在約7万人いる加賀市の人口は5万人を切って、65歳以上の人口の割合を占める高齢化率は、40%を超えることが示されております。

少子化対策は、日本全体で取り組まなければならない課題ではありますが、私は子育て世代にとって住みやすい町、子供を産んでも安心して子育てができる町を目指すために、子育て世代を応援することを最重点に取り組んでいかなければならないと考えております。

その1つとして、加賀市の未来を担っていく子供たちを育てる保護者を応援していくため、7月から保育園や幼稚園の保育料の負担軽減を行いました。この負担軽減によって、加賀市の保育料は、県内の中でも最も安い水準になっております。

また、中学校までの医療費を助成しておりますが、今後、助成の内容につきましても充実をしていきたいと考えております。

ほかにも、妊婦や乳幼児の健康診断や保育園に通っていない親子を対象とした親子つどいの広場、小学生の放課後の居場所であります学童クラブの支援、高校生からの奨学金の給付など、妊娠期から高校生・大学生までさまざまな子育てに関する支援を行っております。

さらに今年度には、人口減少対策に取り組むため、人口減少対策アクションプラン、この行動計画を策定することといたしております。このアクションプランでは、今ほど申しあげました子育て支援を充実していくこととあわせて、働く場所の確保や若者の市外流出を解消する方策など、人口減少問題に関するさまざまな対策を検討していきたいと考えているところであります。

以上です。

○三浦稔生さん 議長。

○議長（渡辺大地さん）三浦稔生さん。

○三浦稔生さん 私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん）三浦稔生さんの質問及び答弁は終わりました。

この際、暫時休憩いたします。

再開は、午前10時55分を予定しています。

（午前10時38分 休憩）

（午前10時55分 再開）

## 再 開

○議長（渡辺大地さん） 会議を再開し、休憩前の議事を続けます。

竹内龍矢さん。

○竹内龍矢さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 竹内龍矢さん。

○竹内龍矢さん 錦城中学校2年の竹内龍矢です。

雑草について質問します。

加賀市が所有する土地に、雑草が長く伸びているところがあります。実際に、僕の家  
の横にもそのような状態になっている土地があります。その雑草は大人の身長を超すよ  
うな高さになっています。さらに、そこからいろいろな草の種が飛んできます。また、  
雑草で隠れるようにごみをポイ捨てしていく人もいます。加賀市が所有する土地でその  
ような状態になった雑草を処分しないのでしょうか。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 竹内議員の雑草についての御質問にお答えをしたいと思います。

市が所有する土地は、道路や体育館、図書館など、いろいろな目的に使っております。  
そのほかにも、大聖寺敷地町の放牧場跡などのように現在使っていない土地もあります。  
空地などに雑草が生い茂ると見苦しくなるほか、竹内議員が言われたとおり、種が飛ん  
だり、ごみのポイ捨てがふえたりしてよくありません。そこで市が所有する土地につい  
ては、市役所の中でそれぞれ管理する担当を決めて、管理がおろそかになったり、雑草  
が伸びないように見回りをしたり、草刈を行っております。その中には、地元の方々と  
協力し合い、美しくきれいな公園や道路となるように、管理を行っているところもあり  
ます。市の土地はこのようにして、きちんと管理することに努めております。

なお、市の所有ではない空地などで雑草が伸びて見苦しくなっている場合があります。  
こうした空地の管理不足などの問題に対応するため、市では、加賀市生活環境保全条例  
という決まりの中で、土地の持ち主は、その土地に雑草を生やしたり、ごみを放置して  
周りの環境を損なってはならないという決まりを定めております。この決まりが守られ  
ていない土地で、誰の土地かわからず、どこに相談してよいかわからないような場合は、  
市に連絡をしていただければ、土地の持ち主やその土地を管理している人を探して、決  
まりを守って周囲に迷惑がかからないように、正しい土地の管理をしてくださいという  
連絡をいたしております。

今後とも、こうした取り組みによって、市が所有する土地もそうでない土地も雑草で  
見苦しくならないように努めていきたいと思っております。

○竹内龍矢さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 竹内龍矢さん。

○竹内龍矢さん 次に、病院について質問します。

加賀市民病院と山中温泉医療センターが、数年後に統合して、新しい大きな病院が作  
見町に建設されるらしいですが、統合後、市民病院の広い土地、大きな建物は何に使わ  
れるのでしょうか。

大聖寺や山中に住み、車を運転できないお年寄りの人は、歩いて病院へ行っています

が、統合後、病院までは、どのようにして行けばよいのでしょうか。また、病院から遠いところに住んでいるお年寄りに負担にならないのでしょうか。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 病院についての御質問にお答えをしたいと思います。

現在、大聖寺の加賀市民病院と山中温泉の医療センターを統合する形で、平成28年4月のオープンを目指しまして、加賀温泉駅前に統合新病院を建設中であります。統合新病院ができると、大聖寺の市民病院は病院ではなくなりますが、建物がまだ新しいので、壊してしまうのは、とてももったいないと考えております。こうしたことから、現在、新たな使い道を考えているところであります。

あれだけの大きな土地と建物でありますので、1つの使い道にかかわらず、多目的に使用できる施設とすることも可能であると考えております。あの場所は、かつての十万石城下町の中心部であり、大聖寺地区会館や錦城小学校に近いだけではなくて、深田久弥山の文化館や屋形船の船着き場はもとより、江沼神社庭園や大聖寺城跡にも近いことから、このような周りの環境と調和するような活用策を地域の皆さんの御意見もいただきながら、今年度中にまとめてまいりたいと思っております。

次に、新しい病院への交通手段についてお答えをしたいと思います。

市が行った調査では病院に通う人の9割がマイカーを使うというデータがあることから、統合新病院には十分な駐車場をつくることにいたしております。しかし、高齢者の方々など、マイカーで病院に行けない人もおりますので、先ほど、橋立中学校の秋友議員さんにお答えしましたとおり、新しいバス路線や乗合タクシーを動かす準備を始めております。

病気やけがで病院に行きたい人が、気軽に利用できる公共交通の充実に向けて、取り組みを進めていきたいと考えております。

○竹内龍矢さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 竹内龍矢さん。

○竹内龍矢さん 質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 竹内龍矢さんの質問及び答弁は終わりました。

辻 千尋さん。

○辻 千尋さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 辻 千尋さん。

○辻 千尋さん 山代中学校2年の辻 千尋です。

若葉台の街路樹について質問します。

山代中学校への通学路の1つである若葉台の歩道には、多くの街路樹が植えられています。街路樹は、夏の日差しを和らげたり、地域の住人に憩いの場を与えるなど、必要だと思えます。しかし、春から初夏にその街路樹から多くの毛虫が落ちてきて危険です。

街路樹の数を減らすなどの対策を希望します。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 辻議員の若葉台の街路樹についての御質問にお答えをしたいと思います。

御質問の街路樹は、若葉台の公園から七日市町方面、400メートルほどの区間にトウカエデという名前の木が歩道に植えられております。その街路樹には、6月から8月頃の間には毛虫が多く出ることがあり、市では、この時期、街路樹に毛虫がいないか、市内全域をパトロールいたしております。パトロールで毛虫を発見したときは、狭い範囲であれば、毛虫のいる枝を切り落としたり、広い範囲のときは、消毒液を散布したりして、皆さんが安心して通行できるよう街路樹を管理いたしております。しかし、毛虫を見ても、雨の日などはすぐに消毒作業ができない場合もあり、そのため、毛虫が落ちてきたこともあったかと思えます。毛虫の種類によっては、人間に害を与える毛虫もおりますので、街路樹に毛虫がいるのを見つけたときは、学校の先生などに連絡するようにしていただきたいと思えます。

街路樹は、辻議員が言われたように、町の景色を美しくしたり、木陰ができることで歩く人の暑さを和らげたり、また、火事の際には、燃え広がるのを防ぐなど、よい点がたくさんあります。

市では、これからも害虫の発生しにくい木を選んで植えるなど、街路樹を大切に、皆さんが安心して通行できるように、しっかりと街路樹の管理を行っていきたいと思っております。

以上です。

○辻 千尋さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 辻 千尋さん。

○辻 千尋さん 次に、教育予算の拡充について質問します。

山代中学校で学校生活を送る中で、さまざまな場面で不具合を感じます。例えば、生徒玄関の下駄箱は、1人分のスペースに通学靴、体育館シューズ、体育用の外履きズックを収納することが難しく、しばしば下駄箱から落ちてしまっています。また、玄関の傘立ては長年の劣化でかなり傷んでいます。このような学校備品の入れかえには多くの費用が必要なため、なかなか実現できません。教育環境を整備するための予算の拡充を求めます。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 教育予算の拡充についての御質問にお答えをしたいと思います。

加賀市の教育予算は、学校教育の充実や教育環境の整備、生涯学習の推進、スポーツや文化を振興するために、平成26年度では約27億4,000万円と、一般会計のうち予算の9.4%を占めております。そのうち、小学校と中学校に関する予算は、約10億7,000万円です。

教育はとても重要な行政課題であります。あすの加賀市を担う子供たちの人間力を育み、社会で通用する人材として育てていくために、私は教育改革に取り組むことといたしております。生徒の皆さんが快適かつ安全に学び、安心して学校生活を送れるように教育環境を整備したり、学校教育の内容を充実していくためには、教育予算の拡充を図っていくべきだと考えております。

辻議員がおっしゃるように、学校で使用しているもので、もう使えない、使うと危ないものは、きちんと整備をしたいと思えます。一方で、新しいものを購入すれば、きれいで使い勝手もよいのですが、ものを大切に使うことも大事なことです。また、下駄箱はスペースが限られていますが、履物を整理整頓して入れれば、下駄箱から落ちてしまうことはないと思えます。使い方を工夫することも大切なことではないでしょうか。

生徒の皆さんには、学校にあるものについて、長く大事に使っていただくことや使い方を工夫することをお願いしたいと思います。

○辻 千尋さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 辻 千尋さん。

○辻 千尋さん 以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 辻 千尋さんの質問及び答弁は終わりました。

中西郁弥さん。

○中西郁弥さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 中西郁弥さん。

○中西郁弥さん 山代中学校2年の中西郁弥です。

自転車小屋の移設について質問します。

校舎から、離れた場所にある自転車小屋の移設について要望いたします。山代中学校は現在、生徒の約75%が自転車通学をしています。徒歩通学生との間には、自転車通学許可地域と道路1本で隔てられている地域に住んでいる生徒も少なくありません。また、中学校では、部活動があるため帰宅時間が遅くなり、不審者対策としても徒歩で長距離を通学することには不安を感じています。しかし、自転車小屋では、これ以上自転車通学生をふやすことができません。

そこで、私の提言ですが、校舎からの死角にある自転車小屋を校舎正面に移設し、大きく作り直すことで、全校生徒の自転車通学許可を強く要望し、質問いたします。

○議長（渡辺大地さん） 山下教育長。

○山下教育長 中西議員の自転車小屋の移設についての御質問にお答えをいたします。

中学校の自転車通学については、徒歩で通学するには時間がかかるということで、学校と自宅が遠い生徒に対し、自転車通学を認めております。自転車通学を認める範囲については、各学校で決定をしております。学校ごとに少し違いはありますが、おおむね2キロメートル以上の通学距離がある生徒に対して、自転車通学を認めております。



私が山代中学校に勤務していたときには、保護者からの要望で自転車通学の範囲をかなり広げてきた経緯があります。

中西議員が言われるように、不審者など、徒歩での通学には不安があるということは、十分理解できますが、交通安全の面から考えると、自転車通学は徒歩よりも危険性が高いとも言えます。

全校生徒に自転車通学を認めるかどうかは、生徒の皆さんの意見のほか、保護者や先生、地域の方々などの意見を聞き、地域の実情に合った形で、学校ごとに判断していくことがよいと考えています。仮に、山代中学校で自転車通学の生徒がふえ、現在の自転車小屋では不足するようになれば、増設することも必要になるでしょう。ただし、自転車小屋を増設する場所については、御提案のあった校舎正面がよいか、ほかの場所がよいかは、今後よく検討しなければいけないと考えております。

○中西郁弥さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 中西郁弥さん。

○中西郁弥さん 次に、中学校二、三年生の35人以下学級について質問します。

山代中学校の2年生は158人いるため、1クラスあたりの人数が、40人のクラスが2つあります。昭和の規格で現在よりも、小さくつくられている教室に、規格が変わって大きくなった机が40人分入っています。そのため、机と机の間隔も狭くなり、狭い空間にたくさんの人数が入っているため、1年生のときよりも多くのストレスを感じられます。1年生は、1クラス30人で6クラスという快適な人数になっています。ぜひ、加賀市独自で35人以下学級の実現を要望し、質問いたします。

○議長（渡辺大地さん） 上田教育委員長。

○上田教育委員長。 中学校二、三年生の35人以下学級についての御質問にお答えをします。

以前は、小・中学校の1学級の人数は、法律によって40人以下と定められていました。しかし、平成23年4月にその法律の一部が改められ、小学校1年生の1学級の人数が35人以下となりました。

現在、石川県教育委員会では、学力をつけるために、きめ細かい指導を行うことや魅力ある学校をつくることを目的に、石川県の独自策として、小学校2年、3年、4年、そして、中学校1年について、1学級35人としております。これにより、山代中学校では、1年生は35人学級の対象となり、そのためのクラス編成を行った結果、1学級30人となっております。また、2年生は35人学級の対象外なので、1学級39人または40人の学級となっております。

中西議員の御指摘のとおり、昔に比べると、学校で使う教科書の規格が大きくなり、机の天板も広がったことで、机と机の間隔が狭く感じられるようになりました。育ち盛りの中学生40人が教室で勉強するとなると、窮屈に感じるのも当然だと思います。国

や県では、今後、さらなる少人数学級の実現に向け、検討していると聞いています。また、加賀市教育委員会としても、できるだけ早く少人数学級の実現をお願いしているところです。しかし、今すぐに実現するというわけではありません。

加賀市教育委員会としては、少人数の学級では、きめ細かい指導で勉強する意欲を高めたり、担任の先生が悩みや相談もじっくり聞いたりすることができ、大きな教育成果が期待できると考えております。中学校二、三年生を35人学級とするには、加賀市独自の先生の雇用が必要になりますが、今後は、その点も含めて実現に向け、検討してまいりたいと思っております。

以上です。

○中西郁弥さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 中西郁弥さん。

○中西郁弥さん 以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 中西郁弥さんの質問及び答弁は終わりました。

田村明日香さん。

○田村明日香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 田村明日香さん。

○田村明日香さん 本日の子ども議会で最後の質問者となりました、東和中学校1年、田村明日香です。

学校冷房化について質問します。

夏の学校はとても暑く、勉強に集中できません。風通しも悪く、特に2年生と3年生の教室は、午前中で30度を超える暑さです。また、窓をあけるといろいろな虫が入ってきます。そのような状況で授業に集中するのは、大変困難です。

本年度は、錦城中学校にクーラーがつくと聞きました。東和中学校はもちろん、全中学校においても、1日でも早くクーラーの設置を実現していただきたいです。そのような計画はありますか。

○議長（渡辺大地さん） 山下教育長。

○山下教育長 田村議員の学校冷房化についての御質問にお答えします。

近年、地球温暖化による夏場の気温上昇が著しいため、学校の教室の温度も以前より高くなっていると考えられます。生徒の皆さんは暑い中、授業を受けられることは、大変なことだと思います。加賀市でも生徒の皆さんの健康維持と学習に集中できる環境を整えるため、教室に冷房を設置することが必要と考え、現在、中学校の冷房化事業を進めております。しかし、教室の冷房化には、相当な費用がかかるため、1度に事業を進めることはできません。そのため、1年に1校ずつ事業に取りかかる計画を立てております。

市内の中学校では、橋立中学校が平成24年度に学校の改築に合わせ、教室に冷房が入

っております。錦城中学校では、現在、冷房化工事を実施しております。今後、平成27年度から山代中学校、平成28年度から片山津中学校、平成29年度からは御指摘の東和中学校、そして、平成30年度からは山中中学校で冷房化工事を実施していく計画をしております。

東和中学校での冷房化工事は、もう少し先になりますが、全ての中学校で教室の冷房化を進めてまいりたいと思っております。

以上です。

○田村明日香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 田村明日香さん。

○田村明日香さん 北陸新幹線について質問します。

来年の春、新幹線が開通し、金沢にとまると聞きました。また、加賀温泉駅にとまるのは、約10年後と聞いております。

加賀市は、温泉や豊かな自然が有名ですが、新幹線開通に伴っての具体的な地域活性化計画がありましたら、教えてください。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長。

○宮元市長 田村議員の北陸新幹線についての御質問にお答えをしたいと思います。

北陸新幹線は、来年春に東京から金沢までの区間が開業をいたします。金沢から敦賀までの新幹線整備は、今のところ平成37年度に工事が終わる予定であります。新聞報道等では工事期間が早まるとの情報もありますので、加賀温泉駅から新幹線に乗ることができるのは、早ければ平成34年度になります。

北陸新幹線が金沢まで来ると、東京方面から石川県を訪れる観光客が増加すると考えられております。金沢に来た観光客が加賀市に来て、市内観光や片山津温泉、山代温泉、そして、山中温泉に宿泊してもらえるように、金沢から加賀市に来やすい交通手段を整備することを考えております。金沢駅で新幹線からJRの特急・普通列車にスムーズに乗り継ぎできるダイヤ編成や特急列車の割引制度をJR西日本にお願いをしております。また、金沢市内と加賀温泉郷を高速道路経由で結ぶバスを走らせて、どれくらいの利用があるのかを確かめることも行っております。

これまで、北陸新幹線の開業を見越した地域の活性化として、加賀温泉郷や大聖寺の街並みの整備、坂網鴨などの食のブランド化に努めてきました。加えて、橋立と東谷の2つの地区では、重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けるなど、観光客の受け入れ体制を整えてまいりました。

今後、情報発信などをさらに強化して、観光客の誘客につなげ、北陸新幹線の開業を加賀市の活性化にぜひつなげていきたいと考えております。

○田村明日香さん 議長。

○議長（渡辺大地さん） 田村明日香さん。

○田村明日香さん 質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 田村明日香さんの質問及び答弁は終わりました。

子ども議員の質問は全て終わりました。

以上をもって、本日の議事全部を終了いたしました。

子ども議会は、これをもって閉会いたします。

## 講 評

○議長（渡辺大地さん） 子ども議員の皆様お疲れさまでした。

ここで、宮元市長から講評をお願いいたします。

○宮元市長 中学生の議員の皆さん、本当に本日は御苦労さまでございました。

初めての経験で、大変緊張されておられたと思います。質問を終わられた方々のお顔を拝見していると、ほっとしているような、そういう方々も非常に多くございまして、大変緊張されたんだなというふうに思いました。

それから、行司役の渡辺議長さん、お疲れさまでした。大人でもなかなかこの席に座ると緊張しまして大変であります。よく最後まで頑張ってお務めをいただいたというふうに思っております。

加賀市は、こういうふうにして、物事を決めさせていただいております。多くの自治体でもそうありますけれども、このような形で進めているわけでありまして。きょうは世の中の仕組みを少しでも知ってもらうことができ、本当にうれしく思っております。きょうはせっかくの機会でもありますので、私の思いを少しお伝えをしたいなと思っております。

御承知のように、急速な勢いで、先ほどの質問の中にもありましたけれども、急速な勢いで少子高齢化へ突き進んでいるわけでありまして。その中であって、皆さんの存在というのは、時代を担う極めて、極めて大事な存在であると思っております。いふならば、まさに加賀市の宝、そして、日本の宝であります。あらゆる可能性を秘めた希望の光と言っても決して過言ではないと私は思っております。皆さんが夢と希望を持って一つ一つ努力をしていく。そのことによって輝く未来が待ち受けている。そして、素晴らしい社会が待っていると、そのような可能性とはかり知れない力を皆様方は秘めているというふうに、実は思っておるわけでありまして。

ここに、小学校6年生が書いた作文があります。「僕の夢」という作文であります。ぜひ御紹介をしたいなと思っております。

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校で全国大会へ出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには、練習が必要です。僕はその練習には自信があります。僕は3歳のときから練習を始めています。3歳から7歳までは、半年くらいやっていましたが、3年生のときから今までは365日中360日は

激しい練習をやっています。だから、1週間中友達と遊べる時間は5時間から6時間の間です。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、中学、高校でも活躍をして、高校を卒業してから、プロに入団するつもりです。そして、その球団は中日ドラゴンズか西武ライオンズが夢です。ドラフト入団で契約金は1億円以上が目標です。僕が自信があるのは、投手と打撃です。去年の夏、僕たちは全国大会へ行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバーワン選手と確信できるほどです。打撃では県大会4試合のうちホームランを3本打ちました。そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは1年間負け知らずで、野球ができました。だから、この調子でこれからも頑張ります。そして、僕が一流の選手になって、試合に出れるようになったら、お世話になった人に招待券を配って、応援してもらうのも夢の1つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手なることです。

この作者は、いわゆる大リーガーのイチロー選手。鈴木一郎選手の小学校6年生のときの作文であります。先ほど冒頭で申し上げましたけれども、正しい志と夢を持って努力を続ければ、必ず実現をするということです。そんな力を皆様方が秘めているということでもあります。

本日の経験がそのようなきっかけになれば、これ以上の喜びはありません。私たちが君たちの時代へしっかりとつないでいくために、バトンを渡していくために、命がけで取り組んでいきたい、そんなふうに思っております。ともに頑張ってもらいたい、そんなふうに思っております。

本日は誠にありがとうございました。

○議長（渡辺大地さん） 宮元市長ありがとうございました。

○事務局 これで、子ども議会は終了いたします。

誠にありがとうございました。なお、子ども議長、議員の皆様、市長、議長、補佐役議員におかれましては、この後、記念撮影を行いますので、そのまましばらくお待ちください。

以上でございます。